

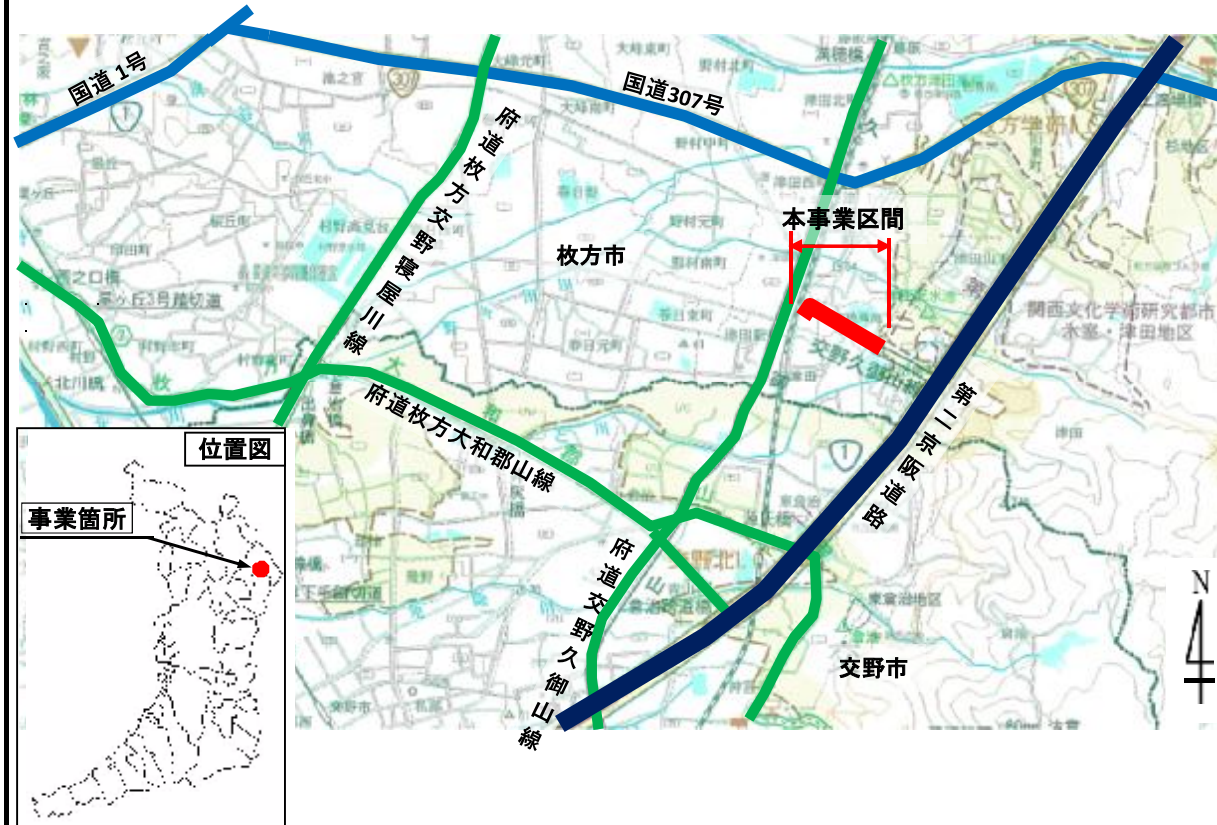
平成 27 年度 事前評価点検表（内部評価）

事業名	一般府道 交野久御山線 歩道整備事業	
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）	
事業箇所	枚方市津田元町 4 丁目～津田駅前 2 丁目	
事業目的	<p>府道交野久御山線の市道長尾津田線から J R 学研都市線までの本事業区間は、通学路として指定され、かつ J R 津田駅への通勤・通学にも多く利用されているが、現況の歩道幅員が 1.5m と狭隘である。</p> <p>さらに、今年度末、事業区間東側に近接する枚方市津田南土地区画整理事業の完成に伴い、通学児童及び J R 津田駅へのアクセスとしての通勤・通学等による道路利用者の増加が見込まれることから、歩道を拡幅整備することによる歩行者の安全確保を目的とする。</p>	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道整備</li> <li>延長： L=400m</li> <li>歩道拡幅整備（幅員 1.5m ⇒ 3.0m）</li> </ul>	
事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体事業費：約 8.2 億円</li> <li>（内訳）用地費 約 7.8 億円</li> <li>工事費 約 0.4 億円</li> </ul>	
	【事業費の積算根拠】	【工事費の内訳】
	事業費は積み上げにより算出	交通安全施設工 約 0.3 億円 舗装工 約 0.1 億円
事業費の変動要因	<p>【今後の事業費変動要因の予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現地調査したところ、事業費の変動要因は特にみられない。</li> </ul>	
維持管理費	<ul style="list-style-type: none"> <li>約 150 万円／年（年間 約 33 万円／千㎡：過去 5 年の実績より算出）</li> </ul>	
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	
上位計画等における位置付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府都市整備中期計画（案）H24.3</li> </ul>	
優先度	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業区間は、通学路として指定され、かつ J R 津田駅への通勤・通学にも多く利用されているが、現況の歩道幅員が 1.5m と狭隘である。</li> <li>今年度末、事業区間東側に近接する枚方市津田南土地区画整理事業の完成に伴い、通学児童及び J R 学研都市線津田駅へのアクセスとしての通勤・通学等による道路利用者の増加が見込まれる。</li> <li>今年度末に、J R 津田駅北の踏切拡幅事業が完成することから、第二京阪道路からの自動車交通量増加が想定される。</li> </ul> <p>以上のことから、早急な歩行者の安全確保が必要なため優先度は高い。</p>	

事業を巡る社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 21 年度末：第二京阪道路の供用開始に伴い、第二京阪道路から市道長尾津田線までの区間について、府道交野久御山線を供用開始。</li> <li>平成 27 年度末：枚方市津田南土地区画整理事業が完成予定。</li> <li>平成 27 年度末：J R 津田駅北踏切拡幅事業が完成予定。</li> </ul>
地元の協力体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元より交通安全対策要望がある。</li> </ul>
事業の投資効果<費用便益分析>または<代替指標>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全事業における費用便益の分析手法が確立されていない。</li> </ul>
事業効果の定性的分析（安心・安全、活力、快適性等の有効性）	<p>[効果項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;安心・安全&gt;</li> <li>歩車道分離により歩行者の安全が確保される。</li> <li>&lt;活力&gt;</li> <li>駅アクセスの利便性が向上する。</li> <li>&lt;快適性&gt;</li> <li>十分な幅員が確保された歩道による快適性が向上する。</li> </ul> <p>[受益者]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路利用者・沿道住民</li> </ul>
事業段階ごとの進捗予定と効果	平成 28～32 年度：用地買収 平成 32 年度：工事
完成予定年度	平成 32 年度
代替手法との比較検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>本箇所では歩道の幅員を確保するためには、現況歩道の拡幅が最善策であり代替案はない。</li> </ul>
自然環境等への影響とその対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に影響を与えることはない。</li> </ul>
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施は妥当</li> </ul> <p>&lt;判断の理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>府道交野久御山線の市道長尾津田線から J R 学研都市線までの区間は、通学路に指定され、かつ J R 津田駅への通勤・通学にも多く利用されているにもかかわらず、現況の歩道幅員が 1.5m と狭隘である。</li> <li>また、今年度末、事業区間東側に近接する枚方市津田南土地区画整理事業の完成に伴い、通学児童や J R 津田駅へのアクセスとしての通勤・通学等による道路利用者の増加が見込まれるため、歩道の拡幅整備による歩行者の安全確保が必要であることから『事業実施』とする。</li> </ul>

平成27年度 事前評価 一般府道交野久御山線 歩道整備事業

事業箇所図



平面図



現況写真



写真①



写真②

標準横断面図

